

福島第二原子力発電所 プラント状況等のお知らせ

(日報：平成 24 年 9 月 14 日)

平成 24 年 9 月 14 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

福島第二原子力発電所では、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う津波の影響により、1, 2, 4 号機において原子力災害対策特別措置法の規定に基づく該当事象が発生し、同年 3 月 12 日、内閣総理大臣による原子力緊急事態宣言が発出されました。

その後、電動機等の復旧や残留熱除去ポンプの機能回復等の緊急事態応急対策を実施し、同年 3 月 15 日までに全号機で冷温停止を達成しました。

以後、同対策を継続して実施し、電源供給機能や残留熱除去機能の多重化を図るなど、プラントの安定的な冷温停止の維持に努めた結果、同年 12 月 26 日、内閣総理大臣により当所の原子力緊急事態解除が宣言され、原子力災害対策特別措置法に基づく原子力災害事後対策の実施段階に移行しました。

同対策を実施するにあたり、原子力事業者防災業務計画に基づく復旧計画を策定し、経済産業大臣、福島県知事、楡葉町長、富岡町長に提出しました（平成 24 年 1 月 31 日提出、同年 5 月 31 日改訂）。

本計画に基づき、プラントの冷温停止維持に係わる設備等の復旧を進め、さらなる信頼性向上に努めてまいります。

本日午後 3 時現在のプラント状況等について、別表および以下のとおりお知らせします（下線部が新規事項）。

○4 号機原子炉開放作業について

4 号機の原子炉開放作業については、平成 24 年 9 月 10 日より開始しておりますが（平成 24 年 9 月 10 日お知らせ済み）、本日、原子炉圧力容器の蓋^{*1}の取り外し作業を実施しました。【資料 1 参照】

今後、蒸気乾燥器、気水分離器等の取り外し作業を、順次進めてまいります。

○復旧計画に基づく 3 号機の復旧状況について

平成 24 年 8 月 8 日、3 号機制御棒駆動水圧系^{*2}ポンプ起動後の確認において、制御棒駆動水圧系ポンプテストバイパス弁シート部から漏えいがあったため、当該弁を点検・修理することとしておりました。（平成 24 年 8 月 9 日ホームページ掲載[8 月 8 日不適合管理委員会審議分]）

その後、当該弁を点検した結果、弁体に浸食痕が見られたことから、弁体を新品に交換することとしました。

これに伴い3号機の復旧計画対象設備である原子炉冷却材浄化系^{*3}パージライン^{*4}の本設復旧完了が10月中旬頃になるため、3号機の復旧完了は平成24年上期から同年下期に変更となります。

*** 1 原子炉圧力容器の蓋**

直径約7.1メートル 高さ約3.2メートル 重さ約90トン。

*** 2 制御棒駆動水圧系**

復水系統などから制御棒駆動機構に通常操作のための駆動水、スクラム時の高圧水などを供給する系統。

*** 3 原子炉冷却材浄化系**

原子炉水中の不純物を除去し水質を維持する系統であり、また、炉内の余剰水を排出して原子炉の水位を制御するためにも使用する。

*** 4 パージライン**

原子炉冷却材浄化系循環ポンプの封水ライン。

以 上

福島第二原子力発電所 プラント状況（平成24年9月14日 午後3時現在）

別表

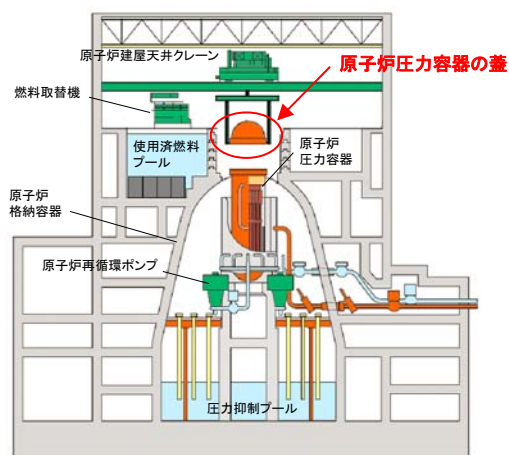
		1号機	2号機	3号機	4号機	参 考
原子炉の冷却	原子炉の状態	冷温停止中 (全制御棒全挿入)	冷温停止中 (全制御棒全挿入)	冷温停止中 (全制御棒全挿入)	原子炉圧力容器 開放作業中	●冷温停止とは、原子炉水の温度が100℃未満で原子炉が未臨界の状態をいう。 ●左記の水温は午前6時現在の温度。
	原子炉水の温度	27.0℃	26.3℃	27.1℃	27.1℃	
	残留熱除去系（A）	運転中	運転中	待機中	運転中	●残留熱除去系1系列と原子炉冷却材浄化系にて原子炉の冷却を行っている。 ●原子炉冷却材浄化系は、原子炉水を浄化する装置だが、原子炉の冷却機能も有する。残留熱除去系2系統が停止したとしても、本系統により、原子炉の冷温停止状態を安定的に維持することが可能。
	残留熱除去系（B）	待機中	待機中	運転中	不待機	
	原子炉冷却材浄化系	運転中	運転中	運転中	運転中	
使用済燃料プールの冷却	燃料プール冷却浄化系	運転中	運転中	運転中	運転中	●使用済燃料プールの水温を65℃以下に保つよう、燃料プール冷却浄化系で冷却している。 ●左記の水温は午前6時現在の温度。
	使用済燃料プール水の温度	28.5℃	28.4℃	28.8℃	26.4℃	
外部電源		受電有	受電有	受電有	受電有	●当所の外部電源は、富岡線1号・2号（500kV系）、岩井戸線1号・2号（66kV系）の4回線がある。
非常用電源	非常用ディーゼル発電機（A）	復旧作業中	待機中	待機中	待機中	●外部電源喪失時のバックアップとして、非常用ディーゼル発電機2台が動作可能な状態を確保している。なお、非常用ディーゼル発電機は、複数の号機で共用することが可能である。（1号機は、2～4号機の待機中の非常用ディーゼル発電機から受電可能）。 ●発電所構内には、全交流電源喪失時に原子炉や使用済燃料プールに注水するための電力を供給する電源車を配備している。
	非常用ディーゼル発電機（B）	待機中	待機中	待機中	点検作業中	
	高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機	復旧作業中	点検作業中	待機中	点検作業中	
モニタリングポスト (空間線量率の測定)		・発電所構内に7基（No.1～7）設置しているモニタリングポスト（環境中の放射線量を測定）はすべて稼動しており、測定値に有意な変動はありません。 ※当社ホームページでモニタリングポストの測定値（空間線量率）を公開しています。 http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html				
特記事項		・4号機において、9/10～9/21（予定）にかけて原子炉開放作業を実施。 ・4号機残留熱除去系（B）の冷却系統である残留熱除去機器冷却海水系ポンプ（B）、（D）と、非常用ディーゼル発電機（B）の機関および補機設備等は、9/7～12/13（予定）にかけて点検を実施。これに伴い、4号機残留熱除去系（B）および非常用ディーゼル発電機（B）を9/7 9:53～12/13（予定）まで不待機。 ・4号機高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機の機関および補機設備は、9/3～10/19（予定）にかけて点検手入を実施。これに伴い、4号機高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機を、9/3 10:06～10/19 16:00（予定）まで不待機。				

●福島第二 4号機 原子炉開放作業（平成24年9月14日）

●福島第二 4号機の原子炉開放作業については、平成24年9月10日より開始しておりますが、本日(9/14)、原子炉圧力容器の蓋*の取り外し作業が完了しました。

●引き続き、蒸気乾燥器、気水分離器等の取り外し作業を行い、9月21日までに、原子炉開放作業が完了する予定です。

* 原子炉圧力容器の蓋
直径約7.1m 高さ約3.2m
重さ約90t（右図参照）



原子炉建屋 概略断面図
(原子炉圧力容器 蓋の取り外し作業)



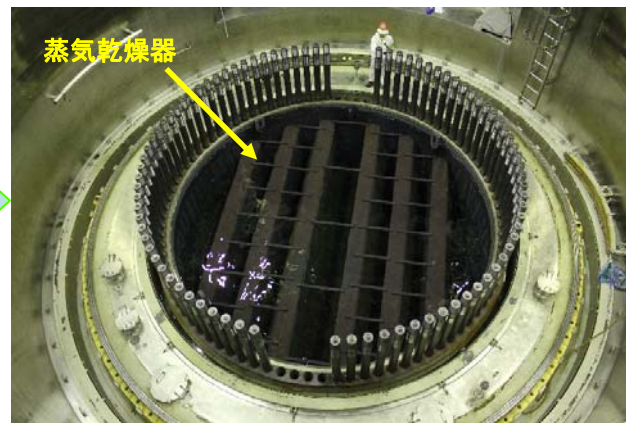
原子炉圧力容器 蓋の取り外し作業前の様子
(平成24年9月14日撮影)



原子炉圧力容器 蓋の取り外し作業の様子
(平成24年9月14日撮影)



原子炉圧力容器 蓋の取り外し作業の様子
(平成24年9月14日撮影)



原子炉圧力容器 蓋の取り外し後の様子
(平成24年9月14日撮影)